

福島再生の会報告会



写真: 飯舘村で栽培されている「ホップ」、「ワイン用ぶどう」、「酒米」



13年余も継続している意味

NPO法人 久しぶりに東大農学部でお会いしましょう!

サイセイ

福島・飯舘村の状況と再生活動のご報告



10月20日

14時開始

東京大学農学部 弥生講堂アネックス

懇親会

17:00START予定

基調講演

溝口 勝

(東京大学大学院農学生命科学研究科・教授)



2024



どなたでも
参加できます。
参加費なし、
カンパ箱あり

organizer

主催: 認定NPO法人 久しぶりに東大農学部でお会いしましょう!

共催: 東京大学大学院農学生命科学研究科 アグリコケーン

2011

gist

原発事故により、少子高齢化が最も進んでしまった飯舘村で、自然環境とコミュニティのトータルな再生を目指して、事故後13年余にわたり、会員と村民の協働により多彩な活動が継続されている。コロナの時期に抑制されていた活動エネルギーがここに来て大きく復活してきた。健康医療ケア、里山再生・ブドウ栽培、アート系制作活動と団団倉庫展示、野草調査、放射能・放射線測定などが、継続的に活動している。これらの活動により、村民・移住者・長期滞在する若者アーティストなどのネットワークが創られ、点から場への活動機会が増えて、コミュニティ回復の場づくり・地域力の強化に寄与している。久しぶりに東大農学部でお会いしましょう!の活動の底流にあるのは、自然と共生するコミュニティの再生を目指すという考え方である。地球温暖化など環境危機に直面している現在、人間は自然の一部であり、人間が自然から独立した存在ではないという認識が、世代を超えて共有されつつある。